広報たるみずお便り

読者の思い

いつもお便りありがとうございます！

お便りは一部割愛させていただいております

絶妙景観を毎回楽しみにしております。数年前から毎月楽しみに拝見させていただいておりましたが、特にうれしかったのが、令和2年3月号の垂水市初雪大羽重神社です。私は故郷が大野原で、この神社は父が地域の振興会長をさせていただいた時、多くの皆さんからの寄付によって大々的に修理改修した思い出の神社なのです。その父が病床で、この市報の写真を眺め、何度も何度も「いい写真だ。撮ったのは誰だろう。」と言っていました。そして、3月16日に眠るように亡くなりました。父にとっても私たち家族にとっても忘れられない写真です。しかも、こんなに美しく神々しく撮っていただいて本当にありがとうございます。これからもたくさんの人々に感動と思い出をお届けください。

（鹿屋市在住／momoさん／50代女性）

◀ momoさん、お便りありがとうございます。

令和2年3月号で掲載した絶妙景観「垂水市初雪大羽重神社」の写真は、前日の夜から中央地区でも雪が降り、広報担当者2人で「大野原なら、雪が積もって綺麗な雪景色があるかもしれない」と、翌朝から、良い景観が無いか探し回っていました。

しかし、中々良い景観を見つけられず、段々と雪も解け始め、あきらめかけていた時に、ふと「大羽重神社なら雪が残っているかもしれない」と思い、神社に向かうと、神社の周りの木々で作られた日陰によって、綺麗で神々しい雪景色が残されていました。

撮影時のことを、今でも思い出せるほど、広報担当者にとっても思い出深い1枚です。絶妙景観での写真が、momoさんのご家族の大切な思い出となったことを、大変嬉しく思います。今後も、皆さんに喜んでいただける写真を撮影していきたいと思います。

▲絶妙景観「垂水市初雪大羽重神社」

1月号のまちの話題のコーナーに「垂水小学校1年生昔ながらのあそび体験」等々が掲載されていました。最初は各地で輪投げなど高齢者体力づくりの一環として遊べるのが流行し、これに乗じてクラブが発足している小学校もあるようです。このように高齢者と子どもが一緒にふれあって、一つの輪になれば地域の活性化につながるんだと思っています。

（鹿屋市在住／さすらいの宗やんさん／60代男性）

◀ さすらいの宗やんさん、お便りありがとうございます。

垂水小学校で行われた、昔ながらの遊び体験は、同小学校が企画したもので、昔ながらの遊びを通じて、校区の高齢者とのふれあいを目的としています。参加した子どもたち、また高齢者の皆さんも、とても楽しそうな様子でした。

さすらいの宗やんさんのおっしゃるとおり、子どもたちと地域の高齢者の皆さんとのふれあいは、とても大切なことだと思います。これからも、地域の高齢者の皆さんと子どもたちが、笑顔でふれあっている、素敵な光景をお届けできたらと思います。

あけましておめでとうございます。広報の発刊が待ち遠しく、馴染みの顔がないか探したり、垂水の素晴らしさを再発見できたりと毎月楽しみにしています。また、ポストカードは県外の郷土人へ便りを出す際に重宝し、大変喜ばれます。広報作成に携わる職員の皆様は寒い日も暑い日も奔走しているかとお察し致します。市内外の方々が素晴らしい広報を通して、住んでみたい町、帰ってきてよかったと感じる町、行ってみたい町と思っていただけることを期待し、陰ながら応援しています。これからも楽しみにしています。

（垂水市在住／I・Sさん／30代男性）

◀ I・Sさん、お便りありがとうございます。

また、励ましのお言葉をいただき、感無量でございます。

広報たるみずは、市民の皆様のご協力がなければ成り立ちません。担当者が取材に伺うと「来てくれてありがとう」との言葉をかけていただいたり、写真モデルの協力や景観スポット・まちの話題などの情報提供をいただくことも多いです。この場を借りて、皆様にお礼申し上げます。

皆様のご期待に答えられるように、今後とも精進してまいります。

お便りお待ちしております。（詳しくは裏面をご覧ください。）

お便り＆市長へのメッセージ

1 広報誌を読んだご感想や、市長・市政に対するメッセージなど何でも好きなことをお書きください。

2 お便りを紙面内でご紹介させていただいてもよろしいですか？　（　はい　・　いいえ　）

※ペンネーム記載の方はペンネームで、ご本名のみ記載の方はイニシャルでご紹介させていただきます。

※個人情報の取扱い

個人情報は、お便りのご紹介、プレゼントの発送及び統計資料作成以外の目的では使用いたしません。

※お便りはＷＥＢサイトからでも受付可能！

広報誌へのお便りは、垂水市公式 WEB サイトからでもお送りいただけます！お便りお待ちしております！

◎垂水市公式 WEB サイト
⇒市政の動き ⇒広報・広聴
⇒広報誌　⇒広報誌お便り